

事業コード	H17-農-終-03		区 分	国庫補助 県単独
事業名	農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事		部局課室名	農林水産部 農山村振興課
事業種別	農道整備		班 名	農道 (tel) 018-860-1859
路線名等	本荘北部地区		担当課長名	佐藤充
箇所名	由利本荘市		担当者名	岩井寛明
総合計画との関連	政策コード	T	政 策 名	潤いとやすらぎを提供する農山漁村空間の創造
	施策コード	01	施 策 名	快適で生き生きした農山漁村づくり
	指標コード	09	施策目標(指標)名	その他施策関連事業

1. 事業の概要

事業期間	H05 ~ H15 (11 年)	総事業費	32.0 億円	国庫補助率	1 / 2
事業規模	延長L = 4 , 9 3 5 m 幅員W = 5 . 5 (7 . 0) m				
事業の立案に至る背景	<p>本地域は、はブランド米である本荘由利「ササニシキ」生産を中心に、野菜等の複合経営を推進している。</p> <p>しかし、農産物等の輸送ルートが市街地を経由することを余儀なくされており、集出荷時が通勤と重なることや幅員の狭い道路状況から輸送時間や安全面に支障を来しいた。</p> <p>本農道を整備することにより、市街地を経由せず農産物の搬出入が可能となることから輸送時間の短縮と輸送経費の軽減を図る等、農業の生産性の向上と農村環境の改善を図るものである</p>				
事業目的	<p>農産物の搬出入経路の短縮</p> <p>走行経費の節減</p> <p>生産物の荷傷み防止</p>				
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		当初計画	最終	<p>最終コスト比較</p> <p>C / C = (1.03)</p> <p>最終費用便益比</p> <p>B / C = (1.27)</p>	
		事業費	3,109,000	3,197,000	
	経費内訳	工事費	2,747,359	2,777,915	
		用補費	167,043	166,213	
		その他	194,598	252,872	
	財源内訳	国庫補助	1,554,500	1,598,500	
		県債	1,165,000	1,198,000	
		その他	259,083	266,416	
		一般財源	130,417	134,084	
	事業内容	用地補償費 新設工 改良工	用地補償費 新設工 改良工		
事業終了後の問題点	なし				
住民満足度等の状況 (事業終了後)	<p>満足度を把握した対象 受益者 一般県民 (時期:平成17年 9月)</p> <p>満足度把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審査会 ヒアリング インターネット その他の方法(具体的に)</p> <p>満足度の状況</p> <p>住民へのアンケート調査から、農家では市場、農業施設へのアクセスの改善、農作物、資材の輸送時間等コスト削減を評価している。また、農業以外の満足度では通学、通勤、病院、公共施設等への利便性の向上を評価している。</p>				
上位計画での位置付け	総合計画における施策「快適で生き生きした農山漁村づくり」を支援する事業				
関連プロジェクト等	なし				

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止 指摘事項 なし																												
	指摘事項への対応 なし																												
事業効率把握の手法及び効果	<table border="1"> <tr> <td>指 標 名</td> <td colspan="4">農業輸送・営農交通短縮目標</td> </tr> <tr> <td>指 標 式</td> <td colspan="4">1台当り平均走行距離短縮延長 / 1台当り平均走行距離短縮計画延長</td> </tr> <tr> <td>指 標 の 種 類</td> <td>成果指標</td> <td>業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td>有 無</td> </tr> <tr> <td>目 標 値 a</td> <td colspan="2">1 km</td> <td rowspan="2">データ等の出典</td> <td rowspan="2">「本荘北部地区農道整備事業計画書」</td> </tr> <tr> <td>実 績 値 b</td> <td colspan="2">1 km</td> </tr> <tr> <td>達成率 b / a</td> <td colspan="2">100 %</td> <td>把握の時期</td> <td>平成15年 3月</td> </tr> </table>	指 標 名	農業輸送・営農交通短縮目標				指 標 式	1台当り平均走行距離短縮延長 / 1台当り平均走行距離短縮計画延長				指 標 の 種 類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無	目 標 値 a	1 km		データ等の出典	「本荘北部地区農道整備事業計画書」	実 績 値 b	1 km		達成率 b / a	100 %		把握の時期	平成15年 3月
	指 標 名	農業輸送・営農交通短縮目標																											
	指 標 式	1台当り平均走行距離短縮延長 / 1台当り平均走行距離短縮計画延長																											
	指 標 の 種 類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無																								
	目 標 値 a	1 km		データ等の出典	「本荘北部地区農道整備事業計画書」																								
	実 績 値 b	1 km																											
	達成率 b / a	100 %		把握の時期	平成15年 3月																								
指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法 指標を設定することができなかった理由 																													
具体的な把握方法と効果（見込まれる効果） データの出典含む 																													

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 結 果
有 効 性	住民満足度の状況 A B C 住民へのアンケート調査から、農家では市場、農業施設へのアクセスの改善、農業以外では通学、通勤、病院、公共施設等への利便性の向上を評価している。	A
	事業の効果 A 達成率100%以上 B 達成率80%以上100%未満 C 達成率80%未満 当該事業は、計画どおりに進捗し農業輸送・営農交通の経路短縮目標を達成している。	B C
	事業の経済性の妥当性 A B C B / C が 1 . 0 を上回っており経済性については妥当である	A
効 率 性	コスト縮減の状況 A 縮減率20%以上 B 縮減率20%未満 C 縮減なし	B C
	総合評価 A (妥当性が高い) B (概ね妥当である) C (妥当性が低い) 事業計画に沿って着実に施工が進み、農地、農業用施設や公共施設等への移動時間短縮、緊急時の迂回路確保など幹線農道としての役割は高く、地域住民の満足度等からも成果は上がっており事業の妥当性は高い。	

3. 評価結果の同種事業への反映状況等（対応方針）

農道網の基幹的位置付けであり、高生産性農業の実現と農村地域の生活改善に寄与することから、引き続き事業を推進する必要がある。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の評価及び対応方針を可とする。

終了箇所評価判定点検表

(様式 8 - 1)

(1) 各評価項目の判定基準

観点	評価項目	判定基準	配点	1次	2次	評価結果		
ア有効性	一 住民満足度の状況	a 住民満足度を的確に把握しており、満足度も高い	2	2		A:有効性は高い (4点) B:有効性はある (1~3点) C:有効性は低い (0点)		
		b 住民満足度を把握しているが、手法が的確でない又は満足度が低い	1					
		c 住民満足度を把握していない	0					
	二 事業目標の達成状況	a 達成率が100%以上	2	2		1次 2次		
		b 達成率が80%以上100%未満	1					
		c 達成率が80%未満	0					
計			4	4	A			
イ効率性	一 事業の経済性の妥当性	費用便益比	a B/Cが、国庫補助採択基準がある場合はそれ以上その他の場合は1.5以上となっている	2	2		A:効率性は高い (2点) B:効率性はある (1点) C:効率性は低い (0点)	
			b a、c以外	1				
			c B/Cが、1.0未満	0				
	二 コスト削減の状況(費用便益比が算定できない場合)	a 当初と比較して最終コスト削減率が20%以上	2	0		1次 2次		
		b 当初と比較して最終コスト削減率が20%未満	1					
		c 当初と比較して最終コスト削減率がなし	0					
計			2	2	A			

(2) 総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価	
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	A	
B (概ね妥当である)	「A」判定、「C」判定以外の場合		
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合		